

自然あそび体験を！

育英小学校

5月28日(火)当日は、雨の予報で大変心配しましたが、朝のうちパラパラと降った雨も、観察会が始まる頃には止み、予定通り外で観察会を実施しました。

育英小学校の観察会は、授業として行います。先生の「子どもたちに自然あそびの体験をさせたい」の思いを受けて、内容を考えました。

1年生の観察のポイントは5つ。アオキの葉っぱに字を書いたり、ヤエムグラの葉っぱを勲章に見立てたり、タンポポの不思議な暮らし方を学んだあとは、花柄管で笛を鳴らして遊びました。3つの草や木の匂いを嗅いで、好きな匂いと苦手な匂いを体験し、虫や小さな動物も同じだろうと感じました。最後は夜に眠ったり、遠くに種を飛ばすカタバミの葉っぱで10円玉を磨きました。ピッカピカになった10円玉にみんな大喜びでした。

2年生は、5つのポイントの観察と押し花でしおりを作りました。カエデの種を飛ばして、プロペラのようにクルクル回りながらなおちる様子に大喜び。サクラの葉っぱの蜜腺を観察し、アリとサクラが助けあって暮らしていることを知りました。草原では、幾種類もの草が仲良く暮らしていました。カラスノエンドウの鞘を開いて、笛を作りました。難しかったけど鳴れば最高！ 鏡を使って空を見ながら歩く不思議な散歩は怖かったけど、ワクワク、ドキドキ、1番人気のポイントでした。最後に、スタッフが作った野草の押し花で、世界に一つしかない可愛くて個性的な「しおり」が出来、とても喜んでいました。

自然に関心を示す子どもたちが多く、知識も豊富で驚かされながら、楽しい観察会を終えることができました。(平岡 久美)



自然と仲良くなろう！

佐保台小学校

6月12日(水)佐保台小学校で「自然となかよくなろう」をテーマに校庭の植物観察会を実施しました。

校庭にある普段はあまり気に留めない植物を観察しようというものです。

放課後教室に集まる1年生と2年生が主体の31名の子どもたちが参加してくれました。

校舎のまわりに観察ポイントを5ヶ所設けていよいよ観察開始です。

シロツメグサの小さな小さな花の数を数えたり、カタバミの葉っぱで10円玉を磨いたり、クロガネモチの葉に字を書いたり、葉巻笛を吹いてみたり、クスノキ、ヨモギ、ミカンそれぞれの匂いを嗅いでみたり、カガミを使って空中散歩をしたりと遊びの要素を取り入れた場面を多くしたことで子どもたちは夢中になって楽しんでいました。

植物観察を終えたあと、簡単な自然工作として押し葉(花)のしおりを作りましたが、30分程の時間でかわいらしいしおりを3枚も作

った女の子もいました。また、大きな葉っぱを何枚も台紙からはみ出させて貼り付けたユニークなしおりもありました。

子どもたちは自分で一生懸命に作ったしおりをお土産に持ち帰りました。

(高本 実男)



校庭自然観察会

